

# 平和祈念特集号

E-mail koutou@tokyo-doken.or.jp

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合  
江東ブロック会議  
江東区北砂1-11-4  
TEL [3640] 2411  
発行者 塩出和史  
定価 30円  
新聞代は組合費に含まれています

# 支部役員・組合員・書記局一丸になって 増勢に向かって奮闘しよう!!



実増に向けて開催した活動者会議



報告する 茂呂書記次長

基調報告では、秋の拡大月間の意義と行動スロガンを確認、支部目標一八〇人十夏までの残り七人に加え二五七人を設定、9月12日から10月30

## 拡大目標 257人を設定

日までの二ヶ月間、計八回の統一行動(全16日間)を提起。支部役員・組合員・青年部・女性の会・喜楽会「組合員訪問を基本に据え」アンケートも活用し対話を進めよう」と提案しました。

## 仲間を集める 仲間が集まる 月間めざす

8月25日(日)午前10時から、支部会館にて秋の組織拡大に向けた「拡大月間活動者会議」を開催、各分会・青年部・喜楽会・女性の会から81人が参加、本部から山本繁樹常任中央執行委員を講師に「情勢報告や江東支部での拡大の取り組み方のヒント」など講演を頂き、茂呂書記次長から秋の拡大月間「基調報告」を次の様に提案しました。

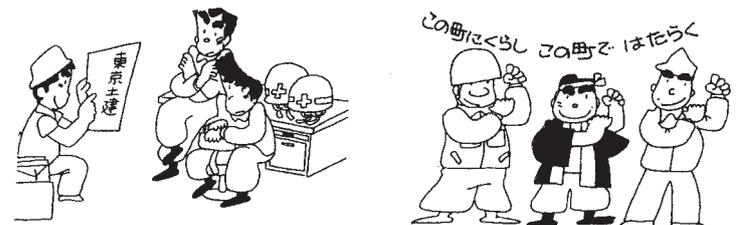
## 仲間に声を掛よう

支部推進委員会を中心に事業所への訪問を進めますが、地域分会でも分会内事業所への訪問と未加入事業所への昼間訪問も行う事で、「社会保障未加入問題の相談は東京土建」の声掛けを促します。併せて、新たな活動参加者を増やしなから、新年度役員の掘り起しも進めていきます。分会レクレーションや住宅デー、支部のイベントに参加してくれた組合員に意識的に働きかける事が大切になります。

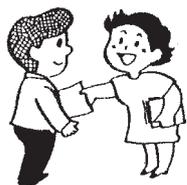
9月行動の重点として①拡大行動への参加・協力者を広げ、地域所属の

## 秋の拡大統一行動(16日間)

- 第一次: 9月12日~13日(木・金)
- 第二次: 9月19日~20日(木・金)
- 第三次: 9月25日~26日(水・木)
- 第四次: 10月 2日~ 3日(水・木)
- 第五次: 10月 9日~10日(水・木)
- 第六次: 10月15日~16日(火・水)
- 第七次: 10月22日~23日(火・水)
- 第八次: 10月29日~30日(火・水)



目標達成に向かってガンバロー



ではありますが建設業全体として好転の兆しが見え始めています。

「東京土建の要求運動の力」と「共済制度の優位」に確信を持ち、それを前面に押し出し、未加入の仲間にもその内容を広め、より良い建設産業をめざす為、増勢に向か

炎暑、豪雨、濁水と記録的異常気象が続く中、スポーツの記録量産に心が躍る▼イチローの四千本安打は大リーグ史上2位の神話。一人一人のプロ入団狭き門、一勝もできず退団も多い中、21連勝負け無しの楽天の田中マ一君。世界最速男ジャマイカのホルトの金8箇獲得。「甲子園は涼しいぞ」と温室で特訓し、3回戦迄勝ち進めた弘前聖愛高キヤプアの笑顔がまぶしい▼「記録なんぞないさ」吐き捨てる人もいるでしょうがそんな人は人類の進歩、人間の能力、可能性を信じていない人でしょう▼虎は死して皮を留め、人は死して名を残す、この格言にぴったりの残念な「記録」が生まれた。原水禁長崎式典に居た安倍総理を地元新聞社説は書きました。「式典会場が年老いた被爆者の核兵器も原爆もなくすと力強い決意を称賛する拍手に包まれる中、首相の両手は一度も動かなかった」▼平和を願う市民の声、被爆者の叫びに拍手できない心と耳。改憲への道、戦争できる国への暴走。日米安保調印の祖父岸元総理と同じ道を征く安倍氏。彼のお孫さんは「祖父は愛国者だったのか」と評するでしょうか(杉)

# 長崎から核兵器のない 平和で公正な世界のために



平和祈念像の前で核廃絶を誓う江東代表团



江東支部代表团 右から中谷・鶴沢・油屋・鹿野の各氏

8月7〜9日(水・金)に原水爆禁止長崎大会が開催されました。江東支部から鶴沢副委員長を団長に、中谷常任執行委員、油屋常任執行委員、鹿野書記を江東区代表団の一員として原水爆禁止大会に派遣しました。参加された代表団からの報告は以下のとおりです。また、代表団を派遣するカンパは組合員皆さんの協力によって40万円(8月23日現在)を超えており、皆様のご理解とご協力にお礼申し上げますとともに、いただいたカンパは参加費用や東京大空襲戦災資料センター維持募金として活用します。

## 江東原水協団長 として参加しました

8月7日から9日まで開催した、2013年原水爆禁止世界大会・長崎に江東原水協代表団15人の団長として、参加させて頂きました。送り出した頂いた組合員の皆様様に御礼申し上げます。

戦争や紛争もない平和で豊かな21世紀の世界を、核兵器の廃絶をめざす核兵器禁止条約の交渉を一日も早く開始させる為に行かなくてはならないと強く決意しました。

まず初めに、日本原水協代表理事高草さんからフォーラムの趣旨説明があり、パネリストによる発言で核兵器禁止・廃絶へ具体的なステップを踏み出すため、国際政治の場で何が求められているか。核兵器の非人道性の流れを後押しする諸国や新アジェンダ連合、非同盟諸国運動などの政府の代表がその方向性を示し、同じ目標に向けて、全国の草の根と世界の反核運動と一緒にやるのが大切という提言が有り非常に心に残りました。

## 9条を生かす 平和運動をしよう

原水爆禁止世界大会長 鶴沢文昭氏に、同じ目標に向けて、全国の草の根と世界の反核運動と一緒にやるのが大切という提言が有り非常に心に残りました。終了後、夕方5時から

原水爆禁止世界大会長 鶴沢文昭氏に、同じ目標に向けて、全国の草の根と世界の反核運動と一緒にやるのが大切という提言が有り非常に心に残りました。終了後、夕方5時から

原水爆禁止世界大会長 鶴沢文昭氏に、同じ目標に向けて、全国の草の根と世界の反核運動と一緒にやるのが大切という提言が有り非常に心に残りました。終了後、夕方5時から



長崎市民会館に6500人が集まった世界大会



